

機関番号：

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2009

課題番号：20730375

研究課題名（和文）認知症の人への居宅介護支援サービス提供時のインフォームド・コンセントにおける家族の関与に関する研究

研究課題名（英文）Study on the Consciousness and the Participation of the family to give the information about the care services for demented elderly on the caremanagement

研究代表者

渡邊 浩文（WATANABE HIROFUMI）

社会福祉法人 浴風会 認知症介護研究・研修東京センター 研究主幹

研究者番号：50383328

研究成果の概要（和文）：

本調査の結果、認知症の診断を受けている利用者はそうでない場合に比べ、居宅サービス計画書の説明時の家族の関与は大きくなり、計画書に対する利用者の理解が不十分であってもサービス利用が実施されていること、および家族の意識も、利用者本人に対し説明を行うことについて否定的な意識をもっていることが示唆された。

研究成果の概要（英文）：

As a result of the investigation, the family who is caring the person diagnosed with the dementia is participating in the explanation of the care plan compared with a family not so, and service is used for the user without understanding the care plan enough. In addition, It was suggested that the family has a negative opinion of the explanation of the care plan for the user.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
20年度	1,000,000	300,000	1,300,000
21年度	2,200,000	660,000	2,860,000
年度			
年度			
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学

キーワード：インフォームド・コンセント、認知症、介護保険サービス、居宅介護支援サービス、契約、意思能力

## 1. 研究開始当初の背景

介護保険制度の理念は、利用者の自己決定・自己選択によるサービス利用である。しかし、判断能力が低下した認知症高齢者が利用者である場合、介護保険サービスを利用する際になされる説明とその同意のあり方をどうしていくべきかは、介護保険制度の適切

な実施にあたって大きな課題である。

## 2. 研究の目的

本研究は、認知症の人本人への介護保険サービス提供に際しての説明と同意（インフォームド・コンセント）に関する指針を開発し、サービス提供者に向けたインフォームド・コンセントに関する教育実習システムを開発

することにある。研究計画期間内では、認知症の人への居宅介護支援サービス提供時におけるインフォームド・コンセントにおける家族介護者等の意識及び関与の実態を明らかにすること、及び開発中の判断能力評価ツールを用いた際の家族介護者等の意識や行動の変容について明らかにすることを目的とする

### 3. 研究の方法

物忘れ外来に通院する患者家族のうち介護保険サービスを利用している者 19 名を対象に、半構造的インタビューを行った。得られたデータは、質問項目ごとに質的及び量的に分析を行った。調査は平成 20 年 11 月～平成 21 年 2 月に実施した。

2008 年度に得られたデータをもとに、質問紙を作成し、全国の介護支援専門員 250 人員の協力を得て、591 人家族介護者に調査票を配布・回収した。

### 4. 研究成果

認知症の診断を受けたものを介護している家族はそうでない家族に比べ、利用者本人に、居宅サービス計画書の説明を行うことに対して否定的な意識をもっていることが示唆された。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

1) 渡邊浩文, 今井幸充: 認知症者に対するインフォームド・コンセント. 診断と治療. 96 巻 11 号, 2367-2370, 2008, 査読なし

2) 渡邊浩文 今井幸充 他: 認知症の人への居宅サービス計画の説明の実施に関する現状と課題老年精神医学雑誌, 20 巻 3 号, 325-334, 2009, 査読あり

[学会発表] (計 2 件)

1) 渡邊浩文, 鈴木貴子 他: 介護保険サービス説明時における利用者の理解力の評価に関する研究. 第 9 回日本認知症ケア学会, 2008

2) 渡邊浩文, 今井幸充: 認知症の人への居宅介護支援サービスの契約書の説明と同意-実態調査結果のコレスポネン分析結果から-. 第 57 回日本社会福祉学会, 2009

[図書] (計 1 件)

渡邊浩文・今井幸充, : 病名告知. 最新医学別冊 新しい治療と ABC 精神 6 認知症. 三村 蔭編, 最新医学社, 243-250, 2010